

タイトル 営農指導部門における業務改善への取組

リモート
アクセス

申請事業者：株式会社エビス商事（都城市）
業種：プロイラー食肉加工販売、鶏豚畜産物飼料販売

コンサル事業者：株式会社デンサン（宮崎市）
業種：情報サービス・情報通信業



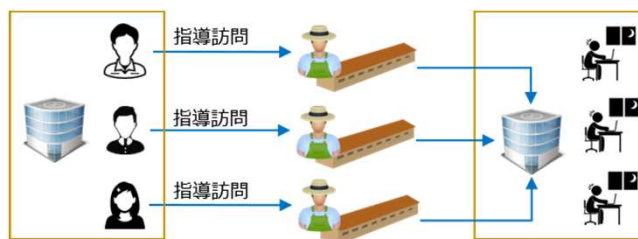
ポイント 営農指導業務の簡素化とテレワーク体制の構築！

取組の概要

導入部門：営農指導部（10名体制）
導入業務：養鶏農家への営農指導を行う
目的：指導時に発生する業務のシステム化とテレワーク体制構築
ツール：指導員向け業務システム
手法：営農指導業務(報告系/発注系)の簡素化と基幹システムとの連携
規模：30件/日
導入費用：2,220千円(ソフトウェア購入・開発費 1,800千円：コンサル 420千円)

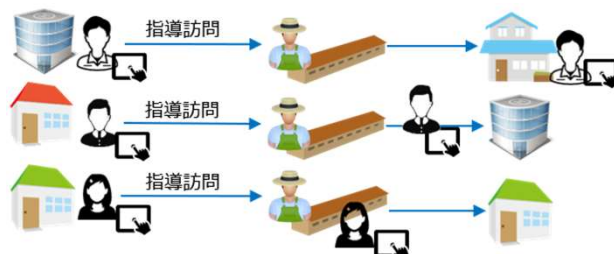
【導入前】

営農指導に関わる業務(発注/精算/伝票印刷/会計)までを紙媒体で行っている為、必ず社内デスクワークで行う必要がある



【導入後】

営農指導業務をシステム化し、会社/自宅/農家先/移動中でも業務可能な環境構築として実装する



取組の背景

- ・営農指導業務(飼料や資材の発注～請求費用の精算～伝票関係の印刷～日々の指導報告)において紙媒体での運用が主となっており、社内デスクワークを強いられている状況である。
- ・また、基幹システムとの連携も視野に入れて、更なる業務改善を進めたい。

- ・業務自体の見直しとシステム化の推進
- ・クラウド環境での構築により、テレワーク体制として構築する
- ・基幹業務(販売管理/会計)システムとの連動で時短への取り組み強化

取組の成果

- ・営農指導部(10名)の営農指導業務において、現場で受けた発注や請求に関する精算書の発行、その他伝票、指導報告の業務をクラウド環境で構築した。
- それにより、コロナ拡大時でも出社をせずとも業務が遂行できる体制を構築する事が出来、接触機会の削減、出社抑制に繋がった。
- ・副産物として、アナログ業務脱却によるペーパーレス化、発注や伝票関連のシステム化により、訪問現場でのデータ入力や伝票発行が可能となったため、報告業務時の2重作業や転記ミスの削減にも繋げる事が出来た。